

平成25年度「いわき市農林業施策に関する建議」

「原発事故により放射性物質が農地や山林そして農産物へ与えた被害に対する対策や農業が安心して営農できる支援策等について要望」



▶ 渡辺市長に建議書を手渡す鈴木会長

農業委員会では、去る10月19日、鈴木理会長他役員5名が「いわき市農林業施策に関する建議」を渡辺市長に提出するとともに、根本茂市議会議長並びに遊佐勝美副議長へ支援の要請をいたしました。

この建議書は、農業者の意見・要望等を平成25年度の市農林業施策に反映させ、また国や県等関係機関への働きかけを市へ要望するため、農業委員25名からなる農政振興部会により審議・作成し、総会において農業委員会の総意として承認を受けたものです。

建議の項目については、次のとおりです。

I 国の農業施策への要望について

○事故に関する終息宣言が、昨年12月に出来ましたが、トラブルが相次ぎ真の事故収束といえるのか疑問であり、福島復興なくして日本の復興なし

というのであれば、実質国有化までした事実を踏まえ、東京電力任せを見直し、政府として真の収束と廃炉対策に全力をあげること。

- ① 原発事故の真の収束について
- ② TPP交渉参加の撤回について
- ③ 戸別所得補償制度の法制化について

II 県の農業施策への要望について

○畜産経営に欠かせない自給牧草は、原発事故により使用自粛しています。傾斜地にある牧草地の除染方法である反転耕や耕起は、傾斜が急で作土が浅いことから手付かずの状態であるため、牧草地の除染方法等の技術対策を早急に示すこと。

- ④ 消費税を価格転嫁できる仕組みづくり等について
- ⑤ セシウム吸着剤等の全額支援について

III いわき市の農業振興施策について

○市は、市内各施設に検査機器を配備したことで検査体制が整備され、これまで野菜等から基準値を超える放射性物質は、ほとんど検出されていませんが、風評被害は続いています。そこで、直売所へ検査機器を設置するとともに、ホームページでの公表に加え、新聞紙上に市独自の検査結

- ① 畜産農家の飼料確保のための支援対策について
- ② 土壌汚染対策の専門機関の誘致について
- ③ 土壌医の早期養成について
- ④ 後継者確保のための事業について
- ⑤ 農業への女性起業家の支援について

IV いわき市の林業振興施策について

○森林中のセシウムは、土壌への固定と内部循環を長時間継続し、木材中の濃度が増加する見込みであることから、除伐、間伐事業の全体量を前倒しするなどして、森林内の放射線量や濃度の低減を図る処理を講じること。

- ⑥ 鳥獣被害対策について
- ⑦ 農業用ため池の防災対策について
- ④ 第二期新農業生産振興プランの後継計画について
- ⑤ いわき産農産物のブランド化について
- ⑥ 果の公表欄を設けるなど、徹底した公表の工夫をすること。
- ⑦ など7項目をあげております。
- ① 県内大学への農学部新設の働きかけについて
- ② 風評被害の解消について
- ③ 人・農地プラン作成への取り組みについて
- ④ 第二期新農業生産振興プランの後継計画について
- ⑤ いわき産農産物のブランド化について
- ⑥ 鳥獣被害対策について
- ⑦ 農業用ため池の防災対策について